

平成31年3月期
第2四半期累計

決算説明資料



平成30年11月8日
株式会社Eストアー

JASDAQ

4304

決算概要

1

今後の計画

2

補足資料

3

| 第2四半期累計期間は、次の2点を強化

- ① マーケティングサービスの強化 ここ数年、継続投資を実行
- ② 販促システム（バックストア群）の販売強化

| クロストラスト社を新設、連結子会社化へ

連結財務諸表を作成により、関連会社1社（株）E Cホールディングスの持分法による投資利益39,783千円を計上

	前期実績 第2四半期累計 (単体)	今期実績 第2四半期累計 (連結)
売上高	2,452	2,389
営業利益	230	278
経常利益	229	366
四半期純利益	157	263

※ 単位百万円、表示桁数未満を四捨五入

※ 平成31年3月期 第2四半期より四半期連結財務諸表を作成しているため、対前年増減については記載していません。

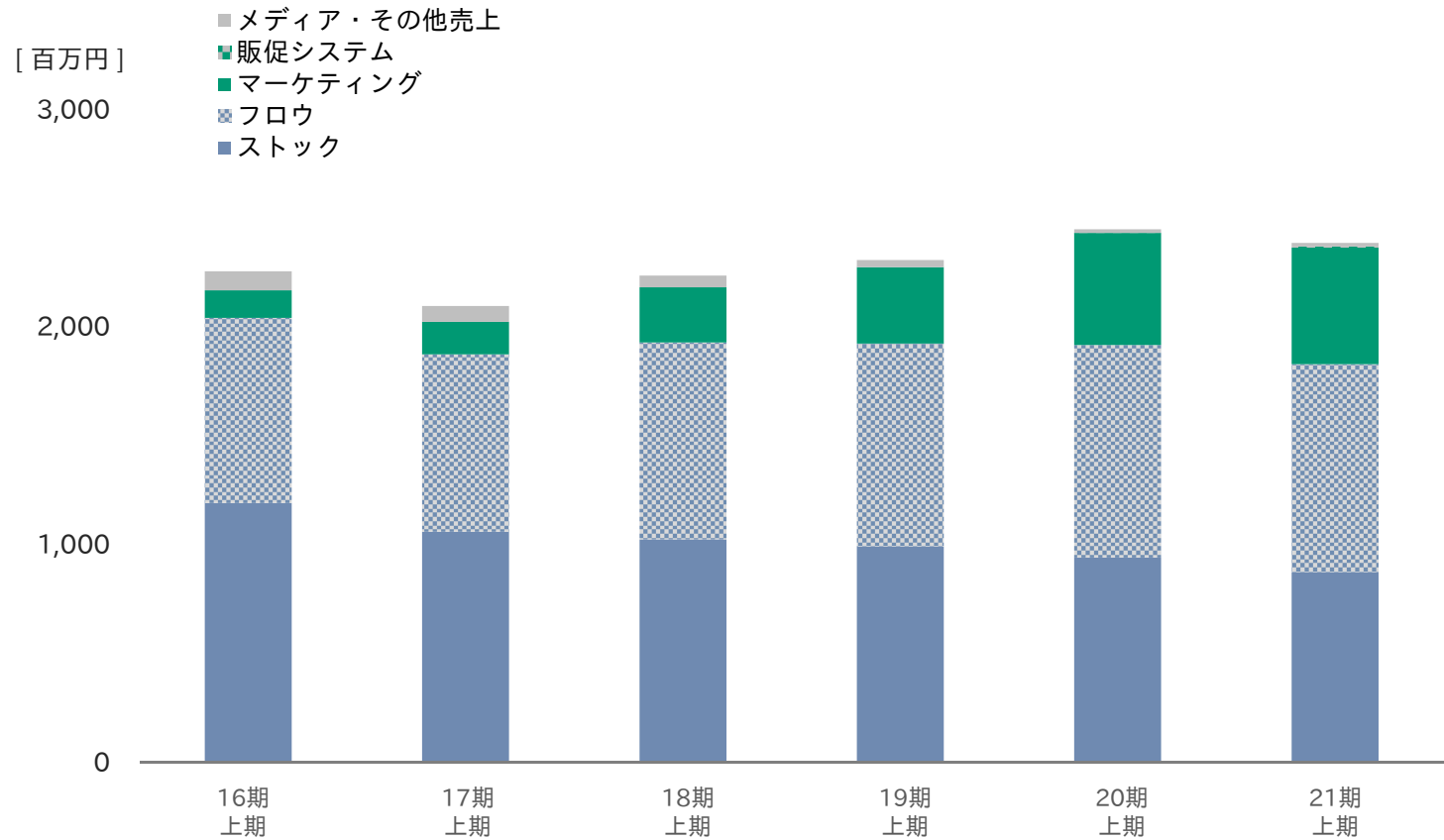
	前期実績 第2四半期累計 (単体)	今期実績 第2四半期累計 (連結)	対前年比 (%)	対前年 増減額
売上高	2,452	2,389	—	—
ストック	944	877	93%	△67
フロウ	976	955	98%	△21
マーケティング	515	535	104%	+20
販促システム	0	5	—	+5
電子認証・その他	17	17	—	—

※ 単位百万円、表示桁数未満を四捨五入

※ 平成31年3月期 第2四半期より四半期連結財務諸表を作成しています。

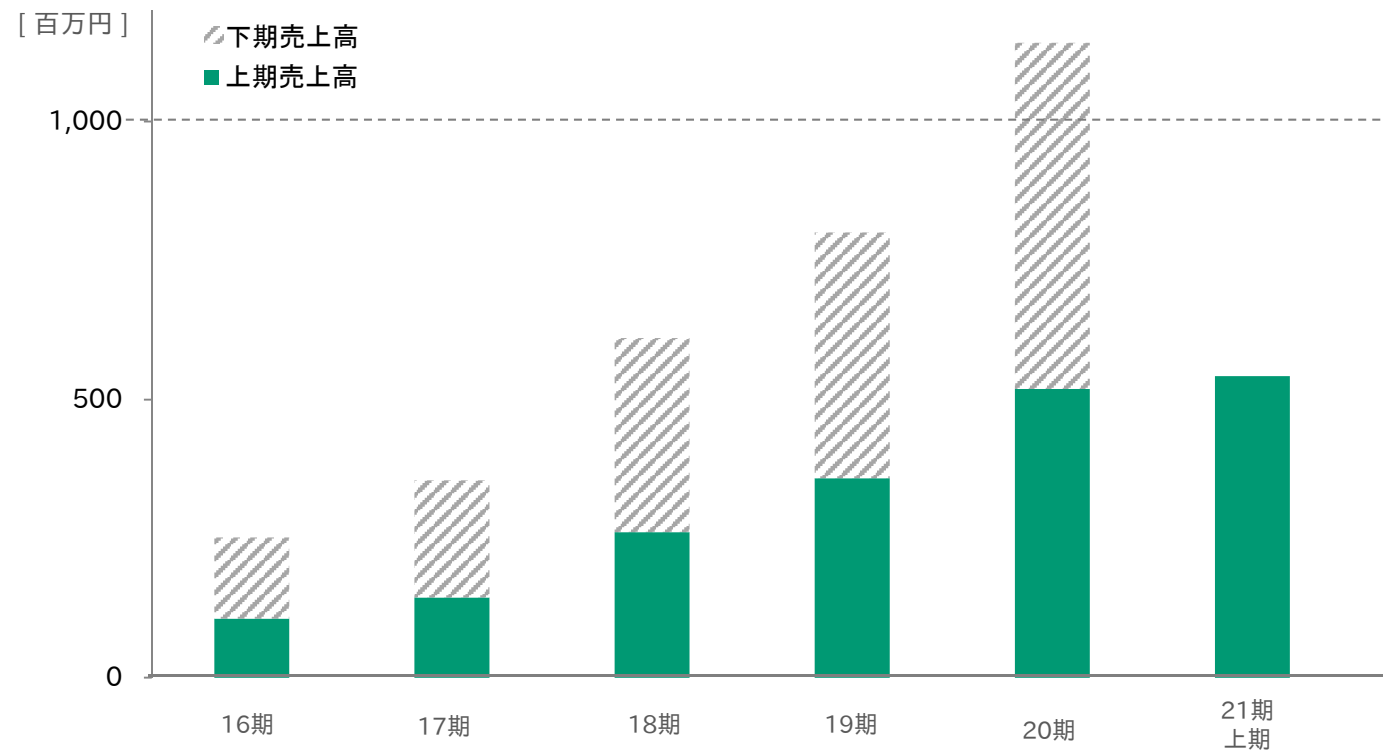
※ 連結対象サービスは電子認証事業のため、電子認証・その他に計上。また、ストック、フロウ、マーケティングについては、前年同期の単体決算数値と比較しています。

販売システム件数の継続低下、マーケティングは成長するも鈍化

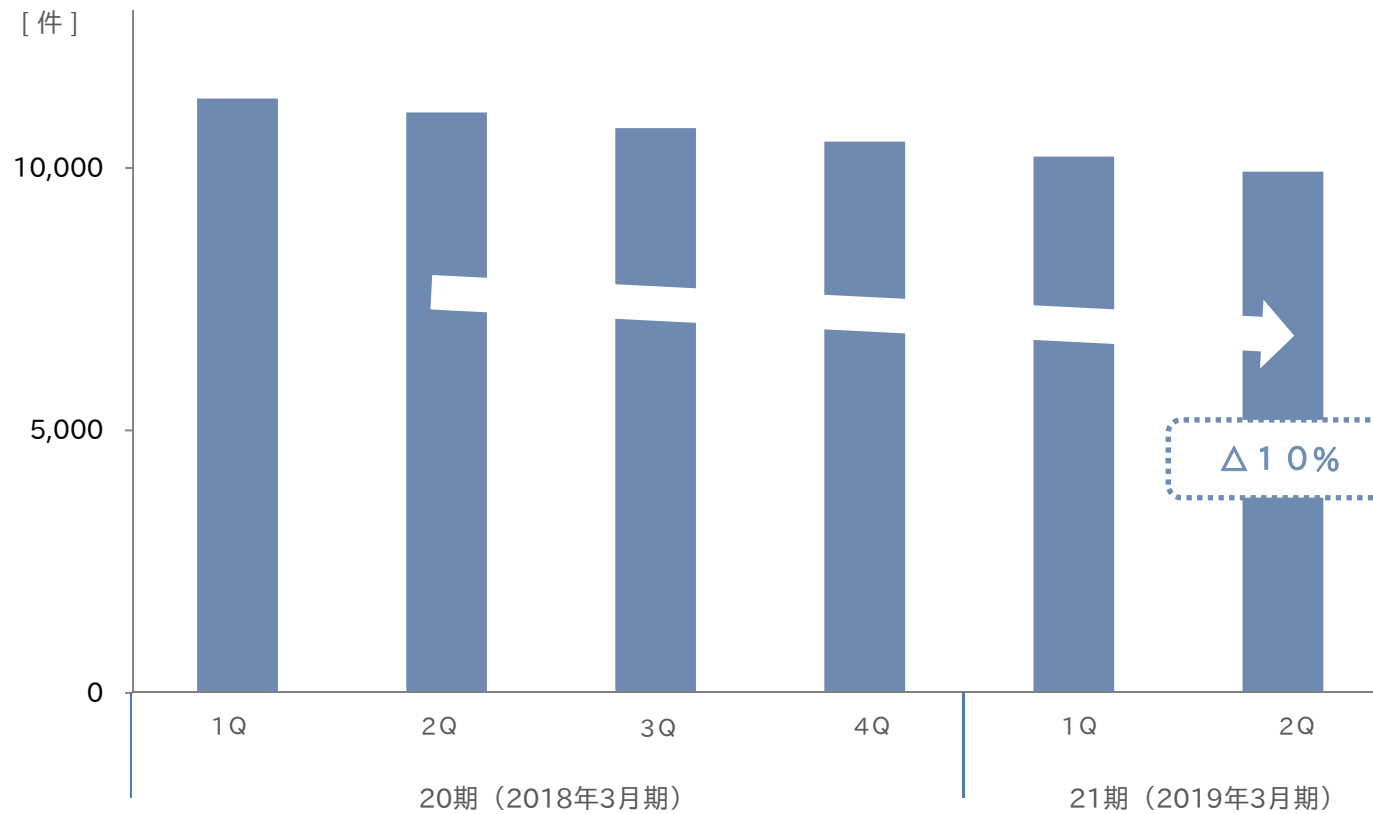


| マーケティング売上高の成長鈍化、要因は2つ

- ① 販売システム既存顧客への営業不足
- ② 新規顧客への営業活動が契約締結に至らず
遅れはしているものの案件サイズは上がっている



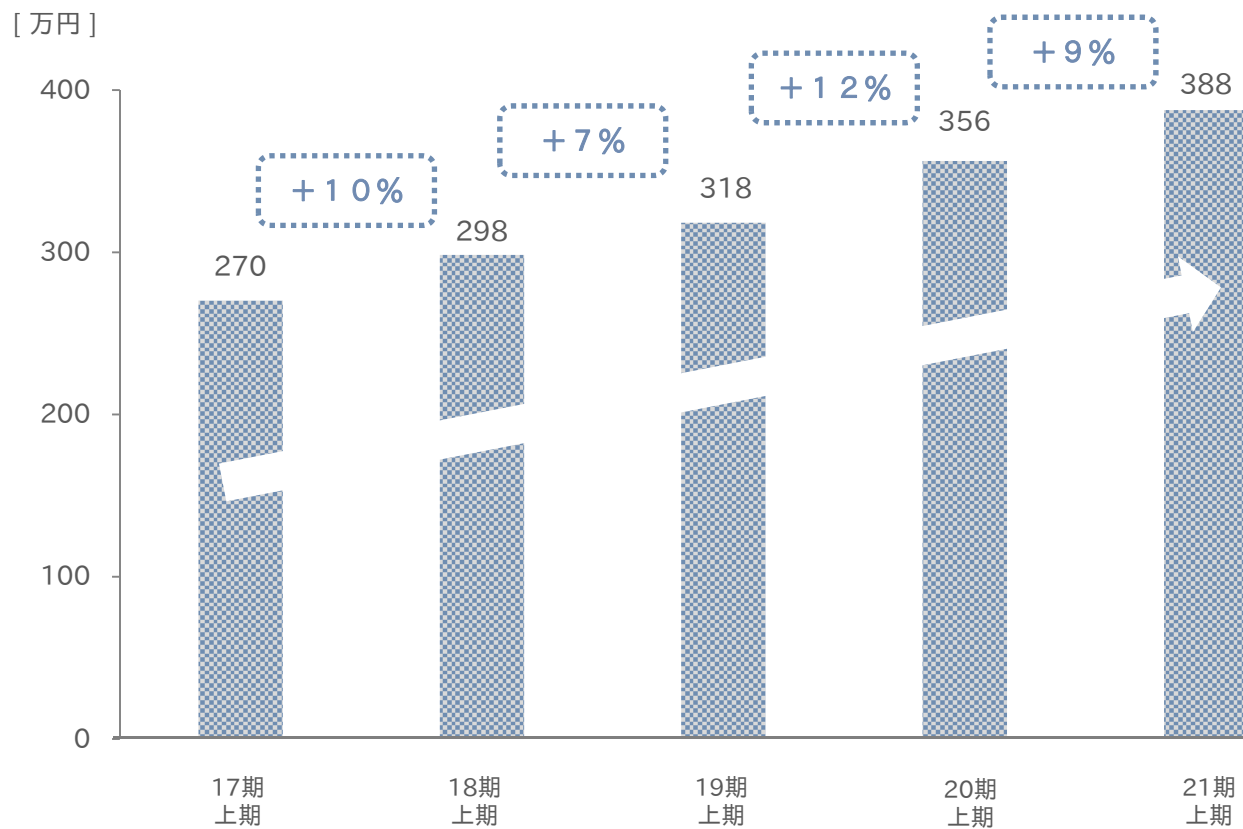
総合支援ソリューションにシフト、
顧客店舗数は継続的に減少（前年同期間比10%減少）



※ 数値は、販売システム（ショップサブ）になります

顧客店舗業績伸長

【1顧客店舗当たり 半期累計業績】



※ 数値は、販売システム（ショップサーブ）になります

| 今期より販促システムの販売を本格開始 滑り出しは順調に推移

販促システム（バックストア）は、「売れるための」システム
「マーケティングサービス」の一部機能をシステム化
今日現在で、2つのツールを提供

A Bテストツール

Estore COMPARE

売上利益の拡大と広告費削減

カスタマーコミュニケーションツール

Estore QUERY

リピート注文の拡大と購買行動把握

売上、利益への貢献はまだ先となる計画も、滑り出しは順調に推移
営業マーケットは専門店ECを運営するすべてが対象、競合他社もまだ少ないため、
プロモーションやシステム開発などの投資を継続

| 子会社を設立 株式会社クロストラスト

平成30年8月に電子認証事業※を行う新会社を設立

※サイト証明書や企業証明書の登録（発行）事業

ECをより安心、安全に運営できる環境を提供

背景：ブラウザベンダーによる「危険サイト表示」を防止、顧客売上の低下を保護

9月末日段階で、ショップサーブの利用店舗すべてに対して、SSL証明書を無料で提供し完全実装（いろいろな理由で辞退される顧客を除く）

収益面では現状は単純コスト、ただしショップサーブ顧客の売上低下防止、利益の既存防止となる

今後は、外販強化や次世代証明書（取引証明書やエスクローなど）によりコストから収益へ変えていく

決算概要

1

今後の計画

2

補足資料

3

挑戦的な積極投資を継続実施、実質利益と留保は確保

	前期実績 (単体)	今期業績予想 (連結)
売上高	5,044	5,546
営業利益	554	508
経常利益	582	560
親会社株主に帰属する 当期純利益	412	393

※ 単位百万円、表示桁数未満を四捨五入

※ 平成31年3月期 第2四半期より四半期連結財務諸表を作成しているため、対前年増減については記載していません。

決算概要

1

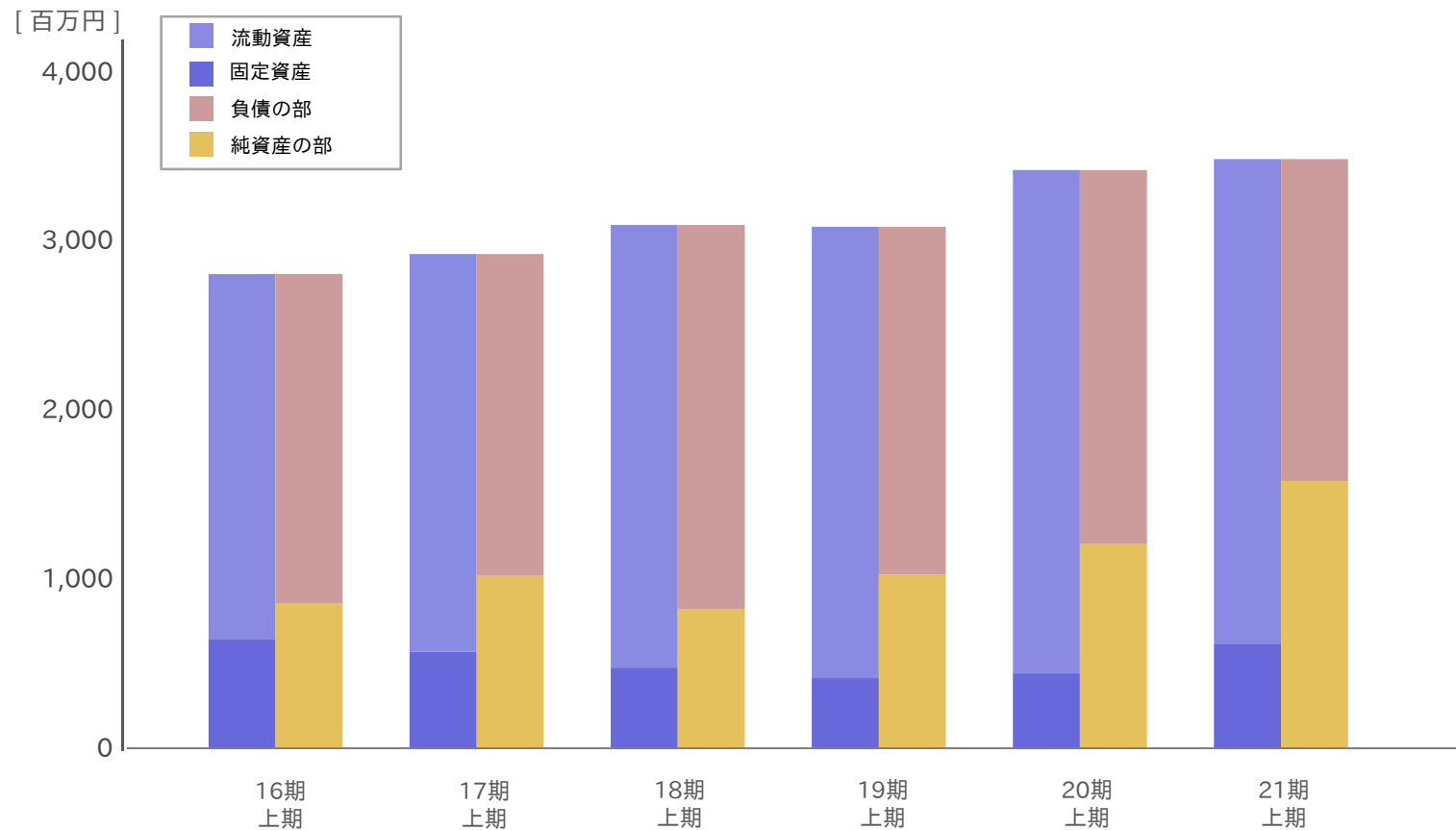
今後の計画

2

補足資料

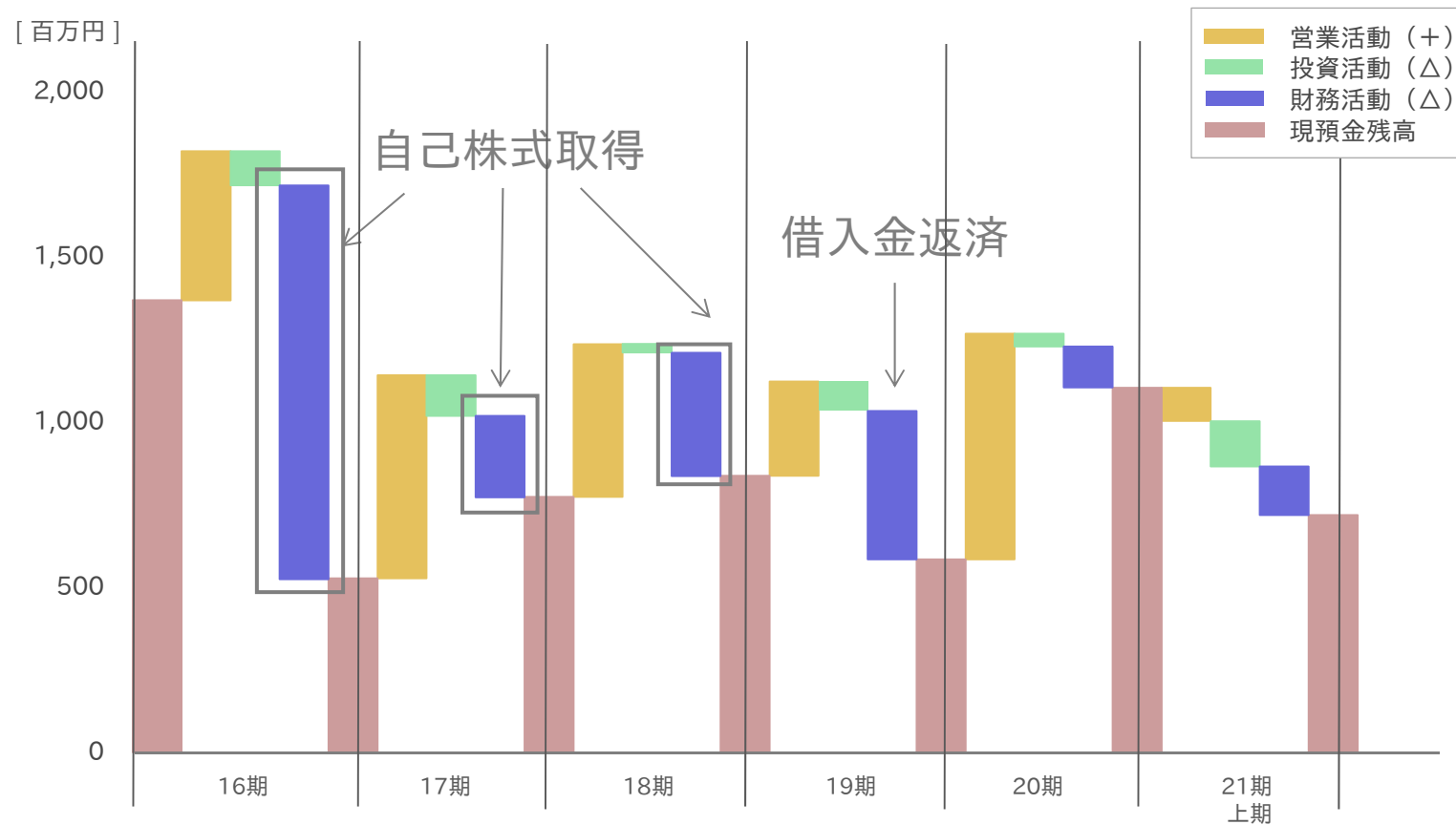
3

着実に利益を積み上げ純資産は前年同期間と比べ増額
 平成30年8月31日付で、自己株式 5,165,902株を消却



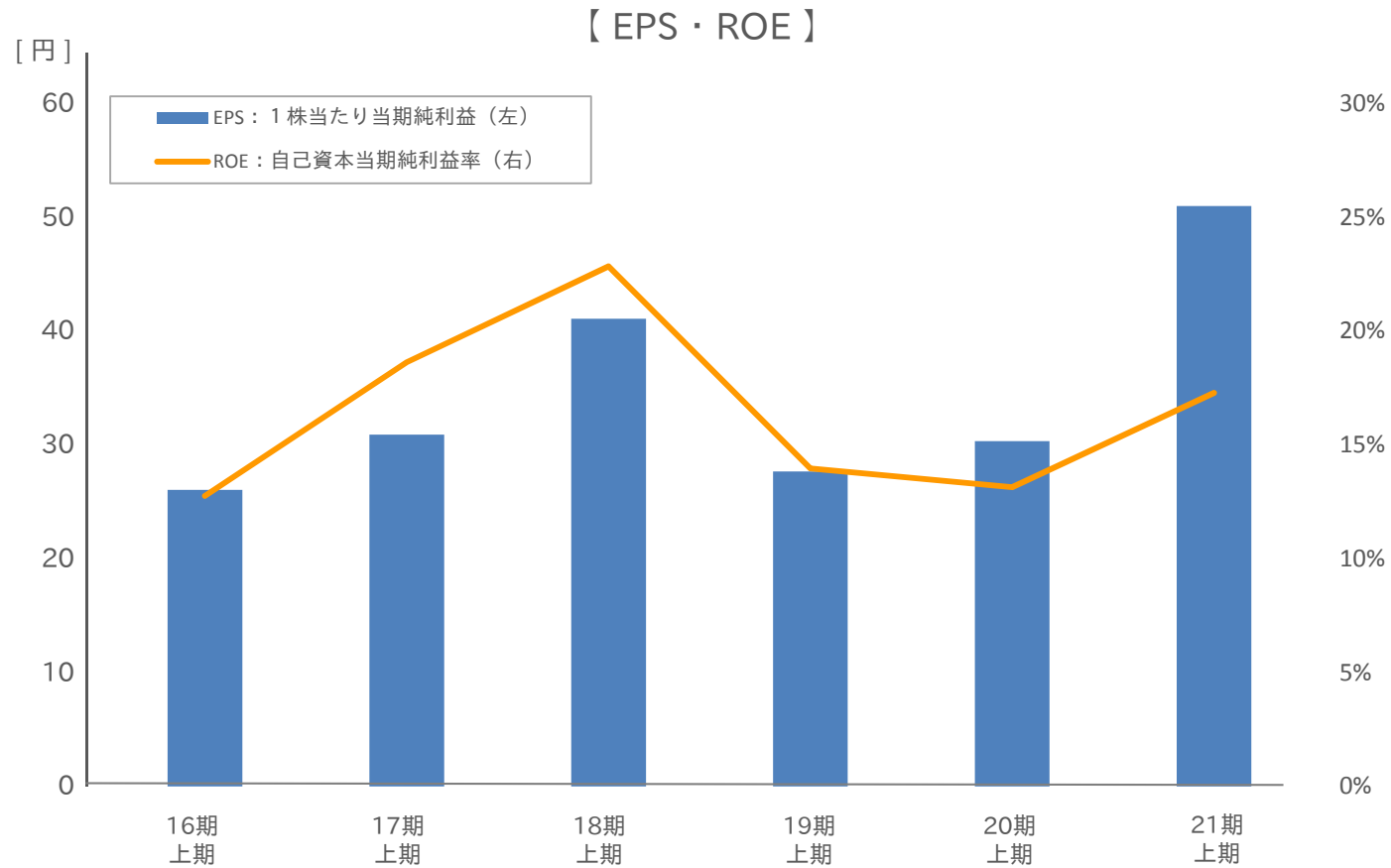
※ 表示桁数未満を四捨五入しています。

法人税や配当金の支払いをするもキャッシュは比較的潤沢



※ 当累計期間において、影響排除した「顧客預り金」は 1,403百万円 になります。
 また、当期間以前においても、「顧客預り金」と「定期預金」の影響を排除しております。
 ※ 表示桁数未満を四捨五入しています

1株当たり当期純利益、ROEともに前年同期間に比べ増加



※ 表示桁数未満を四捨五入しています。



本資料の内容については、現在入手可能な情報から説明しておりますが、事業環境が大きく変動することも考えられます。投資のご判断の際には、本資料に併せて、有価証券報告書などの法定開示書類をご参考にして下さいますよう、お願い申し上げます。なお、読性を考慮し、掲載されている取引先様の機関名、会社名など敬称を省略させて頂いております。